

下田まち遺産を未来に

下田まち遺産手帖 vol.6

下田まち遺産を皆さんと共に未来へ

「下田まち遺産」とは下田の人たちが昔から大切にしてきたもの、これから新たに大切にしていきたいものです。美しい砂浜や歴史的な景観、伝統や人の営みによって育まれる地域文化などは、まさに「下田まち遺産」です。これは時代が変わっても人の心に残り続ける下田の誇りとなります。これらを未来に活かすためにも、私たちの力を合わせて守っていく必要があります。どうか、皆様のご理解、ご協力を願います。

写真：ペリーロード

景観まちづくり市民会議委員がオススメ 私のとおきの下田まち遺産

大賀茂れんげ祭 おおがもれんげまつり

<紹介者> ますだいちじ
前 下田市景観まちづくり市民会議委員 増田 一司 さん

昭和63年度当初、県道下田南伊豆線の大賀茂(旧小豆)トンネル拡幅工事の完成や道路の整備と井ノ木田、鼠田地区・上条地区の圃場整備事業により、稲作作業が再開され環境が整備されました。大賀茂区では、平成4年、21世紀に対応できる地域づくりを推進するため、実効ある緒対策の実現を目指すことにより、地域の発展を図ることを目的に、大賀茂地区地域振興委員会が発足しました。試行錯誤のなかで、看板の設置(柿とみかんの里)等の活動をしていました。そして、平成6年4月、地権者の協力により、第1回大賀茂れんげ祭を開催し、現在に至っております。平成8・9年度と、総事業費の半額を補助する下田市の地域推進事業補助金と大賀茂区の助成金、また、有志の寄付金で賄われました。現在は大賀茂区の助成金、有志の寄付金によって行われています。大賀茂れんげ祭は大賀茂区内団

体が協力し、餅つき大会を行い、きな粉餅を振るまい、風船の無料配布をし、児童を対象にした宝さがし大会やジャンケン大会をしたりと、多数の子供たちが参加し、人気を呼んでおります。現在は、祭を行う面積も倍増し、頭上に春の爽やかな風を満杯に受けて颯爽と泳ぐ鯉のぼりと、足元に広がるピンク色のれんげ畑の景観は心を癒してくれます。20年の短い歴史である大賀茂れんげ祭が、下田まち遺産に認定されたことは大変喜ばしいことですが、この自然豊かな行事を継続する為には、地権者の高齢化やTPP問題等、難問が山積しております。しかし、歴代の大賀茂区役員、振興委員、大賀茂区民の皆様の知恵と汗の結晶を無にすることなく、この大賀茂れんげ祭が続けられることを願っております。



紫色のれんげの花が咲き誇る上を色鮮やかな鯉のぼりが泳ぐ



大賀茂れんげ祭で披露される太鼓の演奏

下田まち遺産ニュース その1

伊豆縦貫自動車道 東駿河湾環状道路の開通式で 下田まち遺産を紹介

平成26年2月11日、伊豆縦貫自動車道東駿河湾環状道路の開通式が行われました。下田市ではPRブースを出展し、下田まち遺産手帖を配布しました。国会議員の方や伊豆半島の首長、一般住民の方などに対して、下田まち遺産のことを紹介し、下田の素晴らしい景観について説明しました。



PRブースで、来賓者に下田の景観施策について説明をする職員

下田まち遺産ニュース その2

アニメファンなど4名から 景観基金に寄付

下田市を応援したいという温かい想いを形にするためにふるさと納税制度があり、その中に「下田まち遺産を活かしたまちづくり」のため「下田市景観まちづくり基金」に積み立てさせていただくものがあります。平成25年度には4名の方から景観基金に寄附していただきました。そのうちの1名からは下田を舞台にしたアニメ「夏色キセキ」を通じて、「下田が好きになり、ふるさと納税させていただきます」とメッセージをいただきました。建設課では、この景観基金を大切に利用させていただき、これからも下田まち遺産を活かしたまちづくりを行っていききたいと思います。

下田まち遺産ニュース その3

伊豆の他市町に 下田市の景観施策を紹介

全国有数の観光地である伊豆地域の良好な景観を形成するため、伊豆地域の5市5町と静岡県で伊豆ワーキングチームを設置し、国際観光地にふさわしい公共サインのルールづくりと改善に向けた取組を行っています。平成26年2月12日には本年度3回目の会議が伊東市で開催され、下田市の景観施策の特徴である下田まち遺産と下田まち遺産手帖について説明しました。



下田まち遺産ニュース その4

下田まち遺産手帖読者から しだれ桃の苗を提供

平成24年度に下田登録まち遺産となった「蓮台寺温泉しだれ桃の里」に対して、新たなしだれ桃を植樹するため、助成金を交付しました。また、下田まち遺産手帖 Vol.3 で掲載した「美しい花を咲かせる難しさ」を読んだ河津町にお住まいの方から、種子から発芽させた新しい苗(実生の苗)を30本ほど提供していただきました。苗はまだ小さいため、現在は畑に植えられていますが、いずれは美しい花を咲かせるでしょう。



左写真 苗木提供のきっかけを生んだ下田まち遺産手帖3号
右写真 苗木を提供していただくため、作業中の関係者

下田まち遺産ニュース その5

認定こども園 景観に配慮した外観で建設

平成26年4月より開園する下田認定こども園が新設されました。下田市景観まちづくり条例を施行してから始めての大型公共事業ということもあり、平成24年度から下田市景観まちづくり審議会でも何度も話し合いを行ってきました。話し合いの結果、隣接するサンワーク下田に近い色彩の外壁にしたため、建物の一体感が生まれました。また、山の連なりの中でも違和感なく溶け込んでいて、周囲の景観に配慮した建物となりました。



竣工した認定こども園